

(1) 学力向上の取り組みの推進

方向性	「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりと個に応じた家庭学習を推進し、子どもたちの確かな学びと自立の力を育みます。
取り組み	<p><b>【学力の向上】</b>          児童・生徒一人ひとりの知識や技能の習得及び思考力・判断力・表現力の育成に向けて、全中学校区へコーディネーターを配置し学力向上委員会、教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取り組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者の招聘による教員の授業力向上を図ります。また、ICT機器を効果的に活用し、より高い学習効果につながる授業改革を進めるとともに、少人数学級編制や習熟度別少人数指導等により、きめ細かな指導の充実を図ります。さらに、授業・課業時間外・家庭学習において、パソコンやタブレットによる学習コンテンツを効果的に活用することで、新学習指導要領で求められている言語能力や情報活用能力の育成を図ります。</p> <p><b>【学力状況を把握・分析し指導方法等を明確化・公表】</b>          全国学力・学習状況調査実施後すぐに、教員が問題分析・自校採点及び分析を行い、学校全体としての課題や個々の課題にも正対した取り組みを行うとともに、教科会・学年会における授業研究の推進を図ります。          また、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努めます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査の平均正答率：全国平均以上</li> <li>・児童・生徒質問紙調査「算数・数学の授業がわかる」に対して肯定的回答をした児童・生徒の割合：対前年度2ポイント向上（各校種）</li> </ul> <p>平成31年度当初予算：44,629千円</p>

9月末の  
進捗状況  
【〇】

全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置し、授業改善や少人数指導などの取り組みや、学識経験者による講義や指導助言により授業力向上を図っています。  
 また、児童・生徒の理解度に応じて学習できる学習コンテンツを導入し、児童・生徒の家庭学習等の充実を図っています。  
 全国学力・学習状況調査については、問題分析、自校採点及び調査結果の比較・分析を行い、授業研究において活用しています。

## (2) 英語教育の推進

方向性	<p>新学習指導要領の全面実施を見据え、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。</p>
取り組み	<p><b>【英語教育指導助手の配置】</b>          全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に英語が堪能な日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英会話や英語を使った体験的な学習の充実を図ります。</p> <p><b>【指導体制の強化】</b>          新たに、小学校外国語活動の特別免許を所有する教員を配置するとともに、小学校英語専科教員及び日本人英語教育指導助手（JTE）を拡充するなど、小学校外国語活動の指導体制の強化を図ります。</p> <p><b>【外部検定試験の活用】</b>          英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活かします。</p> <p><b>【大学との連携】</b>          関西外国語大学と連携し、「枚方英語村」を実施するなど、児童・生徒が留学生と交流し、英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育みます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「英語の授業が楽しい」と答えた児童・生徒の割合：90.0%（平成30年度86.9%）</li> <li>・大阪府中学生チャレンジテスト（第2学年の平均正答率）：対前年度比向上</li> <li>・外部検定試験結果を活用して、国際基準CEFR Level A1に中学校卒業段階で到達した生徒の割合：50.0%（第2期教育振興基本計画における成果指標を踏まえた英語力の目標値）以上</li> </ul> <p>平成31年度当初予算：155,924千円</p>

### 9月末の 進捗状況 【〇】

全中学校にNET、全小学校にJTEを配置し、英語を使った体験的な学習を実施しています。また、小学校に市独自で英語専科教員を昨年度に引き続き4名を配置するなど、小学校外国語活動の指導体制の充実を図っています。今後、全市立中学校第2学年の全生徒を対象にした英語外部検定試験や、関西外国語大学と連携した「枚方英語村」を実施します。

## (3) 読書活動の推進

方向性	<p>児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図ります。</p>
取り組み	<p>市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進します。</p> <p>また、社会教育部と連携して、全中学校が参加する「ビブリオバトル」を実施します。</p>

	<p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の読書量（1日10分以上の児童・生徒の割合）：対前年度5ポイント向上（平成30年度枚方市立小学校59.9%・中学校47.3% 全国小学校66.2%・中学校53.5%）</li> <li>・「ビブリオバトル」参加校数・生徒数：19校×3名（平成30年度17校48名）</li> </ul> <p>平成31年度当初予算：58,506千円</p>
--	--

<p><b>9月末の進捗状況</b> 【○】</p>	<p>全中学校区に学校司書を配置し、児童・生徒の読書習慣の確立や調べ学習等、授業における学校図書館の活用を推進しています。</p> <p>また、令和2年3月に、中央図書館と連携して「中学生のビブリオバトル」を実施します。</p>
--------------------------------	--

<p><b>（４）体力向上の取り組みの推進</b></p>	
<p><b>方向性</b></p>	<p>児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを計画的に推進します。</p> <p>また、中学校部活動について生徒の心身のバランスが取れた成長を促す観点から活性化と充実を図ります。</p>
<p><b>取り組み</b></p>	<p><b>【体力の向上】</b></p> <p>各学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践するとともに、大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進します。</p> <p>また、小学生対象の陸上競技大会、駅伝競走大会、水泳記録会等を通じて児童の体力向上を図ります。</p> <p><b>【中学校部活動】</b></p> <p>専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、指導の充実を図ります。</p> <p>また、「国のガイドライン」を踏まえて策定した「枚方市中学校部活動方針」に即して、適切な練習時間や休養日を設定するなど、生徒にとって望ましい環境を構築し、地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で最適に部活動を実施します。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの各種目の結果の平均値：全国平均（推定値）以上</li> <li>・「運動やスポーツをすることが好き」と答えた児童・生徒の割合：90.0%（平成30年度85.7%）</li> </ul> <p>平成31年度当初予算：22,115千円</p>

<p><b>9月末の進捗状況</b> 【○】</p>	<p>全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成し、実践するとともに、大阪体育大学との連携による指導・助言等を受け、体育科の授業改善に努めています。</p> <p>中学校部活動については、部活動指導協力者を派遣するとともに、枚方市中学校部活動方針に即して、適切な練習時間や休養日を設定することで生徒の健康管理に努めています。</p>
--------------------------------	---

### (5) 生徒指導の充実

方向性	学校・家庭・地域・関係機関が連携し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努め、いじめ・暴力行為・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を行います。
取り組み	<p>平成 30 年 9 月に改定した「枚方市いじめ防止基本方針」に基づき、「枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）」とともに、実用性のあるいじめ対処のためのマニュアルを活用し、いじめの未然防止、早期解決に努めます。</p> <p>また、学校に学識経験者、心理・福祉の専門家等で構成する「緊急支援チーム」を派遣する等、いじめを受けた児童・生徒やその保護者に寄り添い、適切な対応に努めます。</p> <p>各学校においては、生徒指導主事・主担者を核とした組織的な対応を行うとともに、家庭訪問等を通じて保護者との信頼関係の構築、学校アセスメントシートを活用した客観的な状況把握・改善に努めます。</p> <p>また、子どもを取り巻く環境を踏まえ、教育と福祉が緊密な連携のもと、さまざまな視点から子どもたちを継続して見守り、その成長を支える取り組みの充実を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）」を活用した研修実施校の割合：100%</li> <li>・暴力発件数：前年度（小 161 件・中 159 件）より 50.0%減少</li> </ul> <p>平成 31 年度当初予算：115,375 千円</p>

### 9 月末の 進捗状況 【0】

平成 30 年 9 月に改定した「枚方市いじめ防止基本方針」に基づき、「枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）」とともに、各学校にいじめの未然防止、早期解決のため、組織的に対応できるよう指示しました。

また、子どもたちが抱える様々な課題に適切に対応するため、「ひらかた学校支援チーム」（元校長やスクールソーシャルワーカー、子どもの未来コーディネーター等）が定期的に学校訪問を行い、助言を行っています。

### (6) 支援教育の充実

方向性	<p>すべての幼児・児童・生徒、教職員及び保護者並びに地域に対して、支援教育の理解と啓発を推進し、インクルーシブ教育システム（※）の理念を踏まえ、すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」という観点からの学校づくり・集団づくりの充実を図り、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。</p> <p>※インクルーシブ教育システム…障害のある者と障害のない者が、同じ場で、可能な限りともに学ぶ仕組みのこと。</p>
-----	---

取り組み	<p>支援教育コーディネーターの活動時間を確保するために非常勤講師を派遣し、校内の支援教育体制を充実させるとともに、支援教育に関する専門家等を学校園に派遣し、教職員への指導・助言を行います。</p> <p>また、支援学級においてタブレット端末を活用して、視覚支援等による理解力の向上について効果の検証を行います。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の学級に在籍する配慮を要する児童・生徒の個別の教育支援計画作成状況：令和元年度（2019年度）95.0%（平成30年度94.5%）</li> </ul>
	平成31年度当初予算：214,415千円

9月末の進捗状況【〇】	<p>すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」という観点から、支援教育に関する専門家の派遣、学校看護師・介助員の配置、支援教育コーディネーターを支援するための非常勤講師の配置、備品の購入や貸与、小学校2校においてカメラ機能等を活用した視覚支援等、タブレット端末の活用方法についての研究を行い、支援教育に係る環境整備を進めています。</p>
-------------	--

(7) 少人数学級充実事業の推進	
方向性	<p>小学校第1学年から第4学年までを支援学級在籍児童を含む35人学級編制、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施します。</p>
取り組み	<p>本市独自の小学校第4学年までの少人数学級編制及び小学校第5・第6学年の支援学級在籍児童を含む40人学級編制を、引き続き実施するとともに、習熟度別指導や一部教科担任制等、さまざまな指導方法・指導形態を工夫することにより、児童の「生きる力」の育成を図ります。なお、対象となる学校の増学級数に対して任期付教員を配置します。</p> <p>少人数学級編制については、保護者アンケートにおける肯定的回答の割合や「基礎学力のたしかめテスト」等の結果から、効果が見られるため、引き続き実施します。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合：対前年度比向上</li> <li>・学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率：対前回比向上</li> </ul>
	平成31年度当初予算：317,953千円

9月末の進捗状況【〇】	<p>小学校第1学年から第4学年までを支援学級在籍児童を含む35人学級編制、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施しました。</p>
-------------	---

## (8) 教職員研修の充実

<p>方向性</p>	<p>「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、『Hirakata 授業スタンダード』に基づいた授業改善(第2ステージ)」「子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実」を図ります。</p>
<p>取り組み</p>	<p>平成30年3月に大阪府教育委員会により示された「大阪府教員等育成指標」に準じた「教員等育成指標」に基づいた授業研究・研修への支援を充実し、教員の授業力向上と児童・生徒の学力向上を図ります。</p> <p>新学習指導要領を踏まえ、本市独自の教職員研修計画に基づき、教職員の経験年数や職務に応じて行う「基本研修」及び教育課題や教科等の専門性を高める「専門研修」を実施します。</p> <p>高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成する「授業の達人養成講座」を、2年連続講座の2年目としてさらに充実させ、教職員の授業力、指導力の向上を図り、その成果を学校園に発信していきます。</p> <p>指導主事、教育推進プランナー等が学校園を訪問し、経験の浅い教職員への指導、助言や授業研究・研修への継続的な指導・支援を行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>受講した研修内容を授業等に活用している教職員の割合 (研修を受講した教職員が各学校園において会議等で伝達したり、授業等で実践した割合)：100%</p> <p>平成31年度当初予算：6,709千円</p>

### 9月末の 進捗状況 【〇】

今年度は、平成30年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「Hirakata授業スタンダード」に基づいた授業改善(第2ステージ)、③子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っています。9月30日現在、基本研修を105回、専門研修を50回計155回実施しました。

また、教育推進プランナーを中心に、経験の浅い教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等に9月30日現在で420回の学校訪問を実施しました。

### (9) コミュニティ・スクールの推進

方向性	小学校に順次設置し、地域全体で教育に取り組む体制を構築します。
取り組み	保護者や地域住民等で構成され、学校運営や運営に必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次設置します。また、研修会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介や設置校の取り組みの発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進します。 《目標値》 ・学校質問紙調査「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して強い肯定的回答の割合（設置校）：100% 平成 31 年度当初予算：1,565 千円

#### 9 月末の 進捗状況 【○】

前年度設置した 5 校に加え、今年度新たに 22 校においてコミュニティ・スクールを設置しています。  
今後、実践事例の紹介や設置校の取り組みについての情報を発信するとともに、来年度中に市内全小学校の設置に向けて取り組みを進めていきます。

### (10) 幼児教育の充実

方向性	3 歳児保育の実施と預かり保育の拡充をします。
取り組み	市立幼稚園 7 園中 6 園（枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山幼稚園）において 3 歳児保育を実施します。また、これまで教育時間後の 14 時から 16 時半まで実施していた預かり保育を、三季休業日中（一部未実施日あり）も含めて、7 時から 19 時まで延長します。 《目標値》 ・学校教育自己診断における 3 歳児保育に対する保護者の肯定的回答の割合：80%以上 ・保護者アンケートによる預かり保育の満足度：80%以上 平成 31 年度当初予算：122,295 千円

#### 9 月末の 進捗状況 【◎】

本年 4 月から、市立幼稚園 7 園中 6 園（枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山幼稚園）において 3 歳児保育を実施しています。  
預かり保育についても、三季休業日中（一部未実施日あり）も含めて、7 時から 19 時まで実施しています。